

会議・打合せ等記録

市 長	副 市 長	部 長	次 長	課 長 等	補 佐	係 長 等	担 当

報告日：令和7年4月2日

名 称	令和6年度鹿沼市総合計画審議会（政策評価会議）
日 時	令和7年3月27日（木）13時30分～15時
場 所	鹿沼市役所2階 第1委員会室
出 席 者	委 員：別紙のとおり
	事務局：松井市長、福田副市長、秋澤総合政策部長、各部局長 総合政策課（佐藤課長、金子課長補佐、青木主任主事、鰐原主任主事）
内容及び 結果等	○ 開会（進行：佐藤課長） ○ 市長あいさつ ○ 出席委員の自己紹介 ○ 議事 1 第8次総合計画の評価について ・施策評価について・・・資料1 <江田委員> ・一人でも多くスポーツ人口を確保したい。 ・スポーツ協会発展に努めていきたい。 <臼井委員> ・永野小学校は令和7年度から完全複式となる。 ・複式であっても算数や理科の授業は1学年ごとに行うが、その際、普通教室のうち、3年生と5年生の教室はエアコンがない。 夏場は特に子供たちの体に負担がかかるので、冷房がある中で勉強させたい。 ・来年度、学童の受入人数が増えるというが、そうなる一回では送迎バスに乗り切れず、30分待つことになる。便数を増やして欲しい。 ・理由は様々だが、永野から栃木市の小学校に入学する児童もいる。出来れば、地元の小学校に通うように環境を整えて欲しい。 <渡邊豪委員> ・実績値はあるが目標値はないため、比較ができない。また、事業評価の判断基準を教えてほしい。 →2点については、改めて連絡する。 ・県地域振興センターにおいて、転出超過をいかに抑制するか、地域コミュニティの維持等の相談件数はどんどん増加しているが、課題は、関係部局の連携が不十分で、情報伝達が円滑にできていないこと。そのため、集落ごとの状況が把握できておらず、「小さな拠点事業」等の活用にも繋がっていない。 ・県の次期プランも来年度策定となる。鹿沼市と協力しながら、住民のニーズを施策にも反映させたい。

会議・打合せ等記録

市 長	副 市 長	部 長	次 長	課 長 等	補 佐	係 長 等	担 当

	<平野委員> ・引きこもりや空き家などを扱う市民団体が増えている。 ・近年は、短期間で状況が劇的に変化することも多く、計画期間であっても事業内容や目標を変更しても良いのでは。 ・消滅可能性自治体は、鹿沼市にとっても非常に身近な問題であり、それを回避するための施策が必要である。 ・市民活動が活発であればあるほど、市民が抱える課題や不満が多いと思われる。それらをうまく引き出し、施策展開できる場があれば良いのでは。 ・観光振興に関しては、昔からある地域資源の活用を考えると良い。 <棚橋委員> ・学校再編後の廃校舎の利活用は、重要な課題。併せて、青少年育成市民会議や育成会等、学校関連団体もその在り方等について考える必要がある。 ・介護施設について、年度で目標の数値が異なる理由は。 →県整備計画と事業所の整備意向に沿って目標を立てているため。 ・民生児童委員が令和7年度改選となるが、なり手不足等について助言をいただきたい。 <小太刀委員> ・以下のことについて、検討してみてはどうか。 ○使用されていない学校プールの夏休み等の利用。 ○体育館の暖房へ薪ストーブや温水など、自然エネルギーの活用。 ○幼児教育から定員を35名から10名へ縮小、または担任2人制。 ○積極的な企業誘致。 ○ふるさと納税と商品をタイアップできる取り組み(?)。 ・消防法について、説明会を開催してほしい。 <武藤委員> ・イベント時の交通手段を確保して欲しい。 ・市域西側は何もない。 ・介護施設に入所する際には、費用面で不安がある。 ・千渡地区が二車線となり、大型店舗ができることに期待している。 <渡辺保委員> ・森林環境譲与税のより一層の拡充を期待している。それに伴い森林環境保全に力を入れて欲しい。また、鹿沼市は全森林に占める保安林の割合が少ない。森林保全には、何よりも保安林を増やすことが必要。 <川田委員> ・安心して出産・子育てができる環境づくりや、若い人に住んでもらえる魅力あ
--	---

会議・打合せ等記録

市 長	副 市 長	部 長	次 長	課 長 等	補 佐	係 長 等	担 当

配布資料 次回予定 記 録 者	るまちづくりを進めて欲しい。 ・鹿沼商工業高校のトイレを洋式化して欲しい。 ・新鹿沼駅前活性化のため、協議会を立ち上げた。令和7年度から本格的に活動していきたい。 <小杉委員> ・いちごの新規就農者の支援しているが、現状維持または微減している。今後は、スマート農業の促進が必要。併せて、農機具購入のさらなる支援や、鳥獣害対策も必要。農作物の生産量・品質向上という観点から鳥獣被害対策を盛り込んでもらえないか。 →既に「野生鳥獣対策の推進」の項目に盛り込んでいる。官民一体となって進めていきたい。 <矢野委員> ・林道の側溝の蓋が盗難被害にあっている。何らかの対策を。 <宇賀神委員> ・インフラの整備が近隣自治体と比較すると見劣りがする。市民が喜ぶところに重点的にお金を使ってほしい。 ・どうやって外貨を稼ぐかが課題。お金を集められれば、財政的にも良くなり、様々な諸問題にも対処できる。次期総合計画では外貨獲得方法を検討してほしい。 <鈴木委員> ・正直、実効性がない内容が並んでいる要に見える。 ・市内の中小企業は、本当に人材不足に悩んでいる。具体的な方策がないから、成果が上がらないのではないか。 ・他自治体で実施している取り組みを提案したい。関係部署と打合せをしたい。 <吉澤委員> ・移住・定住促進として補助金や税制等の、空き家対策として評価基準の見直し等、制度や運用の提案をしたい。 ・山間部の耕作放棄地の売買に関し、鹿沼市は農地3条許可基準が厳しく、購入に非常に手間がかかる。ある案件では、農業委員と連絡がつかず、面談もできない。農地法3条基準について、千葉県茂原市や大阪府門真市のように防災面でのメリットから、家庭菜園として許可が出るように検討してほしい。 ・また、愛知県名古屋市は、市街化調整区域での再建築等の開発許可のスキームができています。より柔軟に再建築ができるよう、規制の見直しを提案できる場を設けてほしい。
-----------------------	---

会議・打合せ等記録

市 長	副 市 長	部 長	次 長	課 長 等	補 佐	係 長 等	担 当

	＜谷中委員＞ ・市議会では、地域との意見交換会や議会報告会、各種団体との意見交換会を実施している。それらを市長へ提言するとともに、常任委員会での調査や予算要望に繋げている。 ・市の執行部との考えにずれがある、と感じている。 ＜石川委員＞ ・学童保育が非常に課題。運営に関して抜本的に見直してほしい。 ・希望どおりの保育園に入れないことや、保育人材の確保が課題と考えている。 2 地方創生関連事業の実績評価について・・・資料2 ＜平野委員＞ ・NPO を設立して、地域の技能継承ができる学校を作りたい団体がある。NPO や一般企業でも学校設立が可能であり、地方創生交付金の活用も可能となった。 ・鹿沼市の課題として、高校卒業後、大学等で市外に出て、そのまま就職してしまうという点がある。働く場の確保がかなり弱い。 ・そのようなことを今後検討して欲しい。 ○閉会		
配布資料	資料1	施策評価資料	
	資料2	地方創生関連事業実施結果報告一覧	
次回予定	令和7年度		
記 録 者	金子		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	公 開	・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数
			0 人